

プロトコール名 5-FU+CDDP併用療法

- 進行・再発癌
 術後補助化学療法
 術前補助化学療法
 大量化学療法
 局所療法
 その他(放射線治療併用)

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	フルオロウラシル(5-FU・5-FU)	700mg/m ²	c-dii	24時間	d1~5
2	シスプラチン(シスプラチン・CDDP)	70mg/m ²	div	2時間	d1
3					
4					
5					
6					

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	3週、または4週
総コース数	2コース(忍容性があれば更に反復)
コース間での休薬の規定	-

減量規定・中止基準	・1.3<Cr<1.5 mg/dl、または40 <24CCr<60 ml/minの場合、次回CDDPは半量に減量 ・1.5 mg/dl<Cr、または24CCr<40 ml/minの場合、CDDP中止 ・2000 <WBC<4000/μl、または5.0 <PLT<10 × 10 ⁴ /μlになった場合、次回5-FUは半量に減量
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	なし
プレメディケーション・ポストメディケーション	プレメディケーション グラニセトロン3mgまたはパロノセトロン0.75mg+デキサメタゾン12mg(アプレピタントなしの場合は20mg)+アプレピタント

患者条件

※CTCAE v4.0

- ・組織学的に食道扁平上皮癌
- ・Cr<1.2mg/dl、60 ml/min<24CCr
- ・T-bil<1.5mg/dl、AST<施設上限×2.5倍
- ・8g/dl <Hb、4000/μl <WBC、10 × 10⁴/μl <PLT
- ・PS=0~3

除外規定

- ・PS3以上
- ・5-FU、CDDP(または白金を含む製剤)に対し重篤な過敏症の既往歴あり
- ・妊婦又は妊娠している可能性あり
- ・感染症合併、および発熱を有し感染症を疑われる患者

実施上の注意点

- ・1週間は尿量を2000 ml以上に維持